

矢倉岳ハイキング

【コースのご案内】 足柄駅は小田急線にも有りますので注意

J R 御殿場線・足柄駅(9.00)集合・[新老人の会・旗目印] 出発(9.10) - - タクシー - - 足柄峠(10.00) - - 万葉公園 - - 清水越 - - (12.30) 山頂 - - 昼食 - - 出発(13.00) - - (14.30) 矢倉沢・バス停 - - 関本駅(大雄山線)、又は新松田駅(小田急)・解散

足柄峠までタクシー(5名乗車) ¥3,000. 御殿場タクシー0550-82-1234

行き 注・東海道線ご利用の方は6号車が国府津駅の乗り換え階段に近いです
新宿駅(6.47) - - 急行 - - 町田(7.23) - - (8.07) 新松田(乗り換え) (8.15) - - 御殿場線 - - (8.39) 足柄駅 ¥1,740.
東京駅(6.34) 沼津行 - - (7.49) 国府津(7.59) - - (8.39) 足柄駅 ¥1,890.
帰り 矢倉沢・15:07(新)、32(新)。16:32(関)、52(関)

【コースの概略】

足柄峠では歴史上のモニユメントや関所跡など見学しながら万葉公園に向かいます。20分ほどで公園です。トイレが有りま

出ます、ここからは雑木とススキの中の急登を登り切るとカヤトの緩やかな登りになり、周囲が見え始め頂上です。山頂は平坦なカヤトで広く、中央の窪地に矢倉明神の小さな祠が有ります。独立峰です。ので三百六十度の展望で、特に富士山の眺めが素晴らしく、また、



【足柄峠】

足柄道は箱根越え最古の「碓井道」(明神岳越えコース)に次いで二番目に古い街道で、大化改新(六四五年)後、大和朝廷は東国の掌握の為に、足柄峠を箱根越えの官道と定め整備しました。その後、延暦二十一年(八

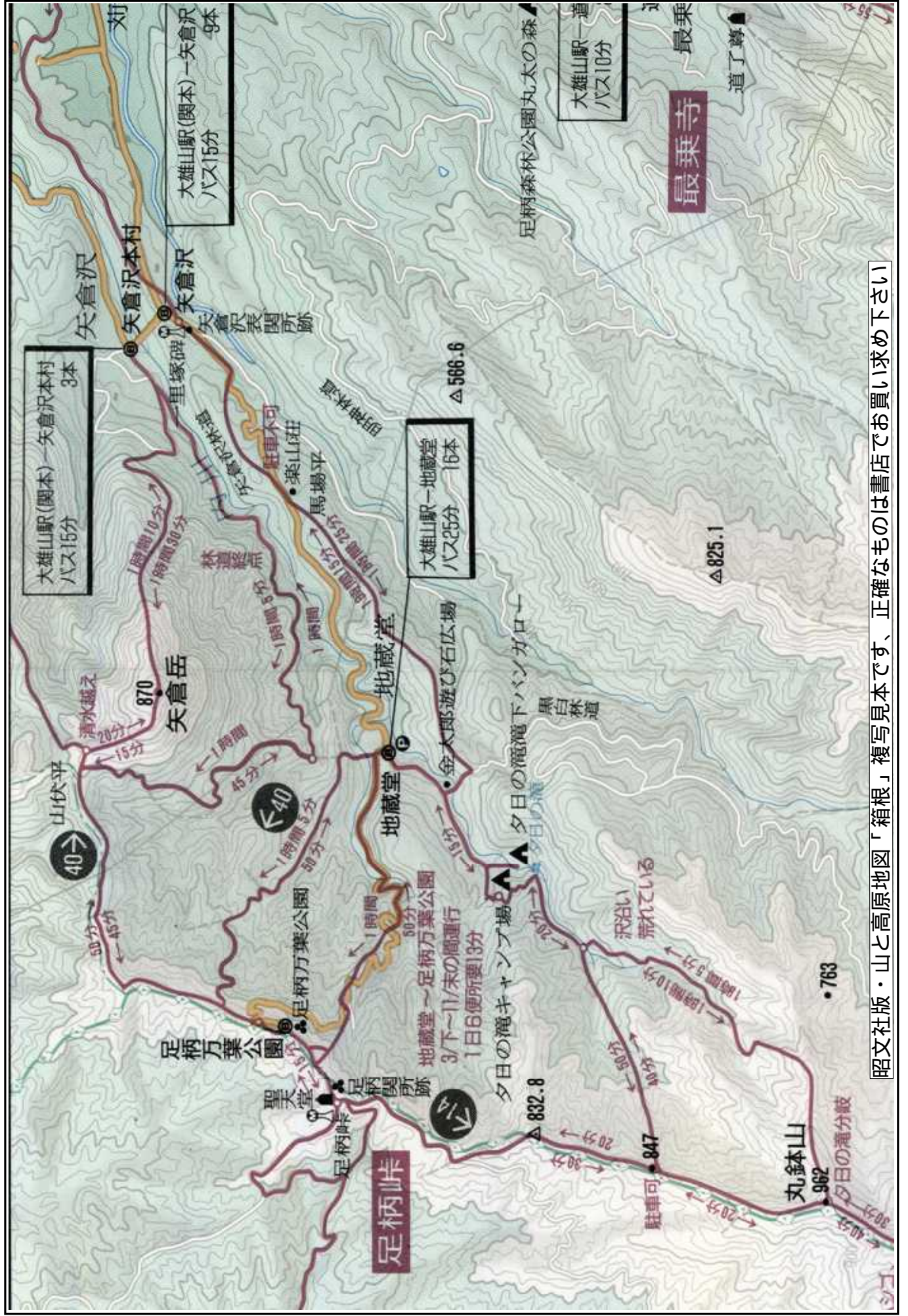
○三年)富士山の爆発で一時間閉鎖され、その後湯坂道が開かれましたが、足柄道もその後すぐに再開され、明治二十二年に国府津と御殿場間に東海道線(現御殿場線)が開通するまで、旅人で賑わって居たそうです。

【矢倉岳】

足柄平野(新松田付近)から箱根方面を見ると右端に丸くおにぎりを立てた様に目立つ山が矢倉岳で、見ていると登って見なくなる山です。足柄道が箱根越えの官道として開かれた頃から、足柄峠を越える旅人を見張る檣の様な形をして居たので矢倉岳と名付けたと云われて居ります。この山は箱根火山と尾根続きに有る為、火山と思われそうですが、実は地下深くから深成岩が盛り上がり、上部の地層が浸食された結果岩がそのままで現れたものだけです。



足柄平野が眼下に広がり、湘南の海、ベイブリッジなど横浜の高層ビル、三浦半島、房総半島まで良く見えます。此処で景色を眺めながら昼食です。下りは登りと同じく緩やかなカヤトの中を進み松林、広葉樹の尾根道を下ると杉林に変わり、急なジグザグ道を下ります。大きな水道タンクが見えて来ると終点です。その先は舗装された農道に出てバス停に向かいます。



昭文社版・山と高原地図「箱根」複写見本です、正確なものは書店でお買い求め下さい